

農業脱炭素へ20社連携

バイオ炭など導入支援 農中

農林中央金庫は3日、農畜産物の生産現場の温室効果ガス削減を進めるコンソーシアム(共同事業体)に、サントリーホールディングス(HD)やファミリーマートなど16社が新たに加わり、合計20社になったと発表しました。「バイオ炭」などガス削減につながる技術の導入を後押しします。生産者と大手食品関連企業による農業の脱炭素化に向けた動きが本格化します。

欧米では、生産から加工、流通、消費までのバリューチェーン全体で温室効果ガス削減に取り組む動きが加速しています。食品関連企業には、自らのガス削減だけではなく、調達する農畜産物を生産する現場のガス削減も求められています。こうした枠組みを日

本にも広めようと、農林中金は昨年8月、コンソーシアムを4社で発足させました。今回20社に増えたことで、農林中金は「川上から川下まで幅広い企業が加わり、脱炭素化の加速が期待できる」と話します。

今回加わった16社は、カゴメ、

明治HD、森永乳業、キッコーマン、日清食品HDなど。この他に技術的な支援を行うパートナーとして農研機構が連携します。

コンソーシアムでは農業者に対して、参画企業の技術を導入して温室効果ガスの抑制を進めます。バイオ炭の土壌施用による炭素固定や水田の中干し延長でメタンガスを減らす取り組み、家畜に機能性飼料を与えて温室効果ガスを抑える手法などを想定しています。

一方、食品関連企業は、これらの技術で生産したことを証明する農畜産物について付加価値を高めて購入することや投資など

コンソーシアムに参画する企業・組織

エス・ディー・エスバイオテック、カゴメ、兼松、キッコーマン、クオックロップ、サントリーHD、すかいらーくHD、スターゼン、JA全農、TOWING、ニチレイフーズ、日清食品HD、バイオセラー、ファミリーマート、フェイガー、明治HD、森永乳業、DSM、Green Carbon、農林中金

※技術パートナーとして農研機構
※太字は今回参加した企業

で農家を支援します。

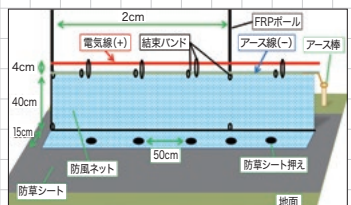
農畜産物の生産過程でのガス削減に関する基準作りは国際的に進んでいます。コンソーシアムでは、国内の商習慣に合わせた排出量の算出や削減の方法などをまとめた国内版の指針を年度内に作成する方針です。

(日本農業新聞 2025年9月4日)

農業技術ピックアップ

防草シート上で中型動物用(アライグマ等)侵入防止柵の効果を発揮する技術

中型動物用侵入防止柵「楽落くんライト」の使用時、下に防草シートを敷いた場合でもアライグマなどを感電させ侵入を防ぐ技術を開発しました。アース線を追加することで、防草シート上での使用が可能となり、草管理労力を軽減することができま



【図1】侵入防止柵設置図

技術開発した内容と特徴は以下の通りです。

①「楽落くんライト」の下に防草シートを敷き、アース線を電気線と防風ネットの間に追加する(図1)。アース線は電気線の4cm下方、FRPボールの農地側を通るように設置することで、アライグマ



【図2】側面図

が電気線を押し下げた際、電気線とアース線が接触することを回避できる(図2)。

②アライグマが柵を乗り越えようとする際、前足で電気線とアース線を同時に触ることにより十分な電気ショックを与えることができる。カメラ撮影により確認した侵入防止効果はアライグマ93.3%、タヌキ100%、ハクビシン100%だった。なお、アライグマの侵入はゲートの施工不良等によるものであった。撮影期間は2023年4月~2024

年11月。

③アライグマなどによりアース線が押し下げられ電気線とアース線の間が大きく開いた場合は感電せずに侵入することがあるため、結束バンドで電気線とアース線の間隔が広がらないよう設置する(図2)。

④柵の設置に必要な資材は表1のとおりである。防草シートは園地の状況や費用、求める草管理労力の軽減程度等を踏まえて幅や種類を選択する。

表1 必要資材一覧(電牧器を除く)

資材名	規格	数量(/100m)	参考価格(/100m)
防草シート	※園地条件によって最適なものを選択する。	- 巻	-
防草シート押え	20cm×100個入り	2 袋	6,960円
電気線	500m ※アース線としても利用する	0.4 巻	1,792円
防風ネット	0.5cm×50m 目合4mm	2 巻	3,960円
FRPボール	14mm×90cm	50 本	9,900円
フック端子	50個入り	1 袋	1,880円
結束バンド	100mm 100本入り	10 袋	1,180円
結束バンド	150mm 300本入り	0.67 袋	669円
合計			26,341円

お問い合わせ先

生産技術研究室 地域連携研究課
☎0598-42-6356
中央農業改良普及センター
☎0598-42-6716

▼このコーナーは三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に研究成果を紹介します。

農業を営む すべての方に

農業経営資金

農業経営に必要な資金として幅広くご利用いただけます

JAバンク
利子補給制度で
金利負担を
軽減します

1
年 %

当初3年間 最大利子補給
【取扱期間】
2025年4月1日
~2026年3月31日

トラクター・ドローンなどの農業機械購入

栽培用ハウス建設

畜舎建設

農地購入

農業運転資金

その他農業経営に必要な資金

詳しくはお近くのJA/バンクまでお問い合わせください
<https://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

JAバンク三重 農業資金 検索

JAバンク 三重県下JA/JA三重信連